

評価指標について

1. 計画の枠組み

(1) 計画の目標年次・計画期間

計画期間：10 年（令和 8（2026）年から令和 17（2035）年）

目標年次：令和 17（2035）年

中間年次：令和 12（2031）年（5 年後）

(2) 計画対象範囲

市域全体（全域が都市計画区域） 約 7,649ha

うち、市街化区域面積 約 3,398ha

市街化調整区域面積 約 4,251ha

(3) 計画人口

策 定 時 280,033 人（住民基本台帳人口（平成 28 年 3 月 31 日時点））

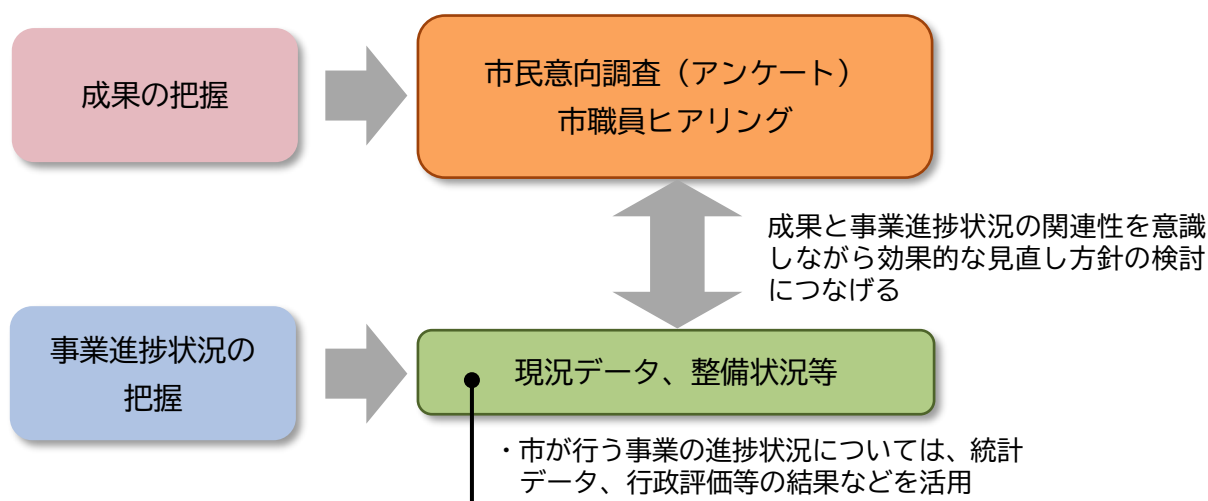
現 状 285,729 人（住民基本台帳人口（令和 6 年 3 月 31 日時点））

中間年次 287,043 人（2031 年、国立社会保障・人口問題研究所の推計値）

目標年次 283,348 人（2035 年、国立社会保障・人口問題研究所の推計値）

2. 評価の手法と目標の設定（案）

タイミング	作業内容	評価や見直し作業にあたっての主な要素
1年ごと	・次年度事業内容の見直し	・行政評価等
5年ごと	・計画の中間見直し（主に第4章以降の改訂） ・その時点から5年間の事業シートの作成	・市民意向調査（アンケート） ・市職員ヒアリング ・みどりの施策推進委員会 ・緑にかかる統計データ等
10年ごと	・計画全体の見直し ・その時点から5年間の事業シートの作成	・社会潮流、国の動き ・市民意向調査（アンケート） ・市職員ヒアリング ・みどりの施策推進委員会 ・緑にかかる統計データ等



「市の緑に対する満足度」の数値目標について

- ・計画の成果を評価する指標として「市の緑に対する満足度」についての数値目標を設定します。
- ・数値目標は、五段階評価で、満足、やや満足と評価した方の比率の合計について、以下のとおり設定します。

現在（令和7年（2025年）度）の満足度 ^注	21.8%
目標（令和17年（2035年）度）	30.0%以上

注）茨木市緑の基本計画に関する市民アンケート調査（令和6年（2024年）10月実施）

3. 評価指標の設定案

(1) 基本的な考え方

- 基本的な方針に基づく取組の成果を確認するため、基本的な方針ごとに評価指標を設定する。
- 評価指標は、現行計画でも採用されている「市の緑に対する満足度」のほか、本計画改定の視点である「つなぐ」考え方をふまえた指標を検討する。



(2) 評価指標の設定案

項目	評価指標候補案	つなぐ
「みどりの活用」に関する評価指標	●満足度、活用された分野を評価 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 市民の緑への満足度（市民アンケート） ➤ 公園緑地などで実施されたイベントや講座の分野数 など	緑と緑 緑と人 人と人
「共創によるみどりのまちづくり」に関する評価指標	●取組の開催数、参加人数、主体数、市民の参加意識の割合などを評価 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 緑の拠点でのイベントや緑に関する講座などの開催回数、人数、ボランティア等活用団体数等 ➤ プラットフォームの設置・開催数、共創に関わる主体数 ➤ みどりのまちづくりに関する活動に参加している市民、参加意欲のある市民の割合（市民アンケート） ➤ 地域主体で公園等の利用ルールを設定した地域数 など	緑と人 人と人
「みどりの保全・創出」に関する評価指標	●質の向上、充実に関する整備箇所数などを評価 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 公園マネジメントの検討およびこれに基づく公園の再整備箇所数 ➤ 計画的な維持管理を実施する街路樹延長 など	緑と緑 緑と人